

資料館だより

第82号

平成24年10月号
焼津市歴史民俗資料館
焼津市三ヶ名1550番地
電話629-6847

「焼津の鯉節」をテーマに企画展を開催!

焼津市歴史民俗資料館では、10月5日(金)から企画展「焼津の鯉節」を開催します。その鯉節製造技術はさまざまな改良が加えられて確立され、全国に広く普及しました。毎年行われる宮中賢所における新嘗祭には、焼津の本枯節が戦後間もなくから現在まで献上されています。

日本食文化に欠かせない鯉節。焼津の鯉節は全国屈指の品質を誇り、その鯉節製造技術はさまざまな改良が加えられて確立され、全国に広く普及しました。毎年行われる宮中賢所における新嘗祭には、焼津の本枯節が戦後間もなくから現在まで献上されています。



堅魚煮汁運搬用壺

焼津の宝「カツオ」「鯉節」をテーマに歴史文化講演会を開催

また、11月10日(土)午後2時から企画展に関連した講演会を開催します。第3回歴史文化講演会で演題は「地域の宝としてのカツオ・鯉節の価値を問う」です。焼津の人々に古くから愛されているカツオと伝統的製法で作られる鯉節。地域之宝ともいえるカツオと鯉節に「ぎよしよく」の観点からその魅力に迫ります。

予水産研究センター副センター長 日本カツオ学会会長で、会場は焼津文化会館3階会議室です。10月20日(土)から歴史民俗資料館にて電話で申し込みを受け付けます。聴講無料です。奮ってご参加ください。



講師の若林良和氏

大井川民俗資料保管庫公開!

11月3日(祝)、大井川図書館東側にある大井川民俗資料保管庫を公開します。ここには大井川地区で収集してきた農具などの民具資料を収蔵しています。例年、この日は同地区の地場産品を紹介・販売する「大井川商まつり」も「ミュージコ周辺」で開催されます。ぜひこの機会に大井川の歴史と文化に触れてみてください。



▲昨年は、唐箕で初穀を飛ばす体験を行いました!



自主運行バスを使って史跡巡りを開催!

8月22日(水)生活安全課との共催で、第4回史跡ガイドウォーク「航空自衛隊静浜基地の見学と周辺の史跡巡り」を開催しました。自主運行バスを利用して、扇谷「静宝山」のある則心寺や航空自衛隊静浜基地内や国指定重要無形民俗文化財の「藤守の田遊び」が奉納される大井八幡宮、徳川家康公床机据え跡など基地周辺の史跡やお寺を巡りました。12人の参加者は、則心寺では、市指定文化財の「日本全勝十万年之図」を拝観し、大井八幡宮では社殿に上がり田遊びで使われる「しよっこ」などを周辺に拝見して説明を聴くことができました。静浜基地では、管制塔見学や体験搭乗ができ、大変有意義な一日となりました。

11月16日(金)には生活安全課との共催で、「自主運行バスに乗って地域再発見の旅」を開催します。

講師は、焼津市文化財保護審議会会長の落首嘉郎さんと、自主運行バスに乗って高草山周辺を散策する予定です。

詳しくは、歴史民俗資料館までお問い合わせください。

竹を使って三門松をつくろう!

12月22日(土)に伝統文化子ども教室「三門松をつくろう!」を焼津文化会館3階会議室で開催します。

新しい年を手作りの門松とともに迎えませんか。

午前の部は、9時30分から正午まで、午後の部は1時30分から4時までです。対象は小学3年生から中学生で、小学生は保護者と一緒に参加してください。

募集人数は各回20人です。参加費は、500円(材料費)です。

持ち物は、重手、剪定ばさみ、ぞうきん、保険証(コピー可)、作品を持ち帰る袋(大きなごみ袋など)です。

▲昨年の門松作り(垣根縛りに挑戦中!)



伝統文化子ども教室「勾玉をつくらう!」参加者募集!

11月24日(土)に伝統文化子ども教室「勾玉をつくらう!」を開催します。

古代人も使っていたといわれる勾玉を、実際に作ってみませんか。

参加費300円(材料費とマスクを持ってきてください。各回20人の定員。開催場所は、焼津文化会館3階会議室で10月20日(火)から受け付けを開始します。

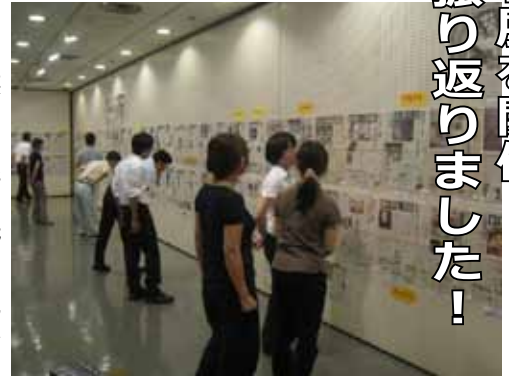
午前の部は、9時30分から11時30分まで、午後の部は1時30分から3時30分までの予定です。



▲紙やすりを使って滑石を削り、勾玉を作ります!

第41回郷土資料展を開催 新聞で平成を振り返りました！

9月5日(木)～11日(火)に、焼津文化財愛護倶楽部(旧焼津市文化財保存協会)設立40周年の記念事業として第41回郷土資料展「平成も、もはや二十余年」を文化会館展示室で開催しました。会期は6日間で、358人のみなさんのご来場をいただきました。



懐かしい新聞紙面に見入る来場者の皆さん

時代も昭和から平成へと移り変わり、平成も、はや24年。昭和の終わりから現在にかけての記憶に残る新聞の一面記事を中心に、約250点を展示し「平成」の24年間を振り返りました。会場を訪れた皆さんからは、「懐」との声が多く聞かれました。

今年も博物館実習生を受け入れました



▲狩り体験用の動物の絵を修復してくれました。

毎年、夏休みの時期に、歴史民俗資料館では、学芸員の資格取得を目指す大学生の実習を受け入れています。今年も、静岡産業大学と大谷実習生は、資料の実測、子ども教室の準備、クイズラリーの問題の作成、展示室受付業務、焼津神社の獅子木遣りの随行と盛りだくさんの内容で、資料館の実務に触れました。

石器時代の生活を体験！



8月18日(土)伝統文化子ども教室「石器時代にタイムスリップ」を開催しました。小学生の男子16人と女子5人の合わせて21人が参加しました。参加者は、黒曜石を使った「石器作り」や舞ぎりを使った「火おこし」、矢を的に当てその得点を競うことに競う「模擬狩り」の3つを体験しました。

石器作りでは、ハンマーで黒曜石を小さく割って、竹で挟み、たこ糸で両端を結んで固定し作った石器で、葉っぱや紙を切ってその切れ味を体験しました。火おこしでは2人1組で1人が火切り板を押さえ、もう1人が舞ぎりを上下させて火おこしに挑戦しました。煙が出て黒い粉ができましたが、そこからが大変。火種から炎へとする作業がなかなか難しいようでした。模擬狩りでは、参加者は5つの班に分かれ、クマやシカ、タヌキ、ウサギ、リスの的を狙って矢を射ました。小さい的ほど得点が高く、班ごとの対抗で、当日一番の盛り上がりを見せていました。

竹で水でっぽうを作りました



▲作った水でっぽうで、早速試し打ちをしました。

7月21日(土)に伝統文化子ども教室「水でっぽうをつくらう！」を開催しました。今年も午前部のみの開催で、26人が参加しました。竹の棒の先端にすきまテープを巻き、各自の持参した布で覆って筒に合った太さにし、たこ糸でしっかりと縛る作業は、竹の太さがそれぞれ異なり大変でしたが、参加者は、講師の指導を受けながら作りました。製作後は、清見田公園に移動し、歓声を上げながら実際に水を飛ばして遊びました。

七種類の七夕飾りが完成しました！



7月7日(日)、毎年恒例となっている伝統文化子ども教室「七夕かざりをつくらう！」を開催しました。講師は小早川あや子さんと、当日午前

17人、午後19人の計36人の参加者が集まりました。

参加者は、保護者や中高生ボランティア(午前6人、午後1人)、友の会ボランティア(午後2人)に手伝ってもらいながら、織り姫、ひこ星、ちようちんなど7種類の七夕飾りを完成させました。帰りには参加者全員に自宅飾り付けをもらうための笹をお配りすると、会場は笑顔で一杯になりました。

▲昔ながらの七夕飾りを親子で協力しながら作りました。

歴史文化講演会を開催しました



7月1日(日)、歴史文化講演会「津波被害と私の街―東日本大震災と想定東海地震―」を焼津文化会館3階会議室で開催しました。

講師は、ふじのくに地域づくりアドバイザーの井野盛夫さんの検証結果などをもとに分かりやすい解説をしていただきました。

71人の聴講者の皆さんにとって、東日本大震災の悲惨な記憶もまだ生々しい中、近い将来起こることが想定される東海地震への備えを考える良い機会になったことでしょう。